

授業科目の授業内容（シラバス）

科目区分	講義科目				
科目名（フリガナ） 英文科目名	特別講義（医療統計のさらなる応用） （トクベツコウギ（イリョウトウケイノサラナルオウヨウ）） One elective course (Applied statistics III - Survival analysis)				
対象学生	名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻（医学博士課程）				
必修／選択・単位数	選択必修・ 1単位	授業形態	講義	開講時期	1～3年次後期
担当教員名	Jonas Björk				
授業内容・計画等	<p>〔目 標〕</p> <p>次の能力を習得すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床疫学研究で多用される統計学の基本的コンセプトを理解する。 ・研究デザインやデータの形に添って正しい統計検定手法の選択ができる。 ・統計ソフトを用いて自身で解析を行うことができる。 <p>〔内 容〕</p> <p>1. 導入</p> <ol style="list-style-type: none"> a. 定義 b. 生存率分析に適した典型的な状況 c. 研究計画 <p>2. データ解析</p> <ol style="list-style-type: none"> a. 生存機能 b. 生命表 c. Kaplan-Meier 推定法 <p>3. グループ相違解析</p> <ol style="list-style-type: none"> a. Kaplan-Meier 推定法と信頼区間 b. log-rank テスト <p>4. グループ相違解析（詳細）</p> <ol style="list-style-type: none"> a. 交絡法 b. 階層別 log-rank テスト c. ハザード率機能 d. Cox モデルとハザード率比 e. 調整ハザード率比 f. Cox モデルフィッティング g. log-minus-log-plot h. Shoenfeld 残差 <p>5. コックス比例ハザードモデル（理論）</p>				

	<p>a. risk set からのサンプリングーネストケースコントロールデザインとの類似</p> <p>b. ハザード率比と発生率比の類似</p> <p>〔計 画〕 講義 10/19~10/21、自主学習 10/22、プレゼンテーション試験 10/23</p> <p>〔教材など〕 講義の前、もしくは期間中に題材と追加教材は連絡する。</p> <p>〔学習上の留意点〕 英語による講義。積極的取り組み。これまでの統計学の講義で使い慣れている統計ソフトのあるノートパソコン持参。(SPSS、STATA、SAS、R または同等のもの)</p>
成績評価の基準等	すべての講義に出席し、課題をすべて提出すること。個人の記述課題。

授業科目の授業内容（シラバス）

科目区分	講義科目				
科目名（フリガナ） 英文科目名	特別講義（研究がもたらす結果を社会に反映させる方法論） （トクベツコウギ（ケンキョウガモタラスケツカヲシャカイニハンエイサセルホウホウロン）） One elective course (Research Innovation and value creation in the life science area 3 hp)				
対象学生	名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻（医学博士課程）				
必修／選択・単位数	選択必修・ 1単位	授業形態	講義	開講時期	1～3年次後期
担当教員名	Fredrik Leeb-Lundberg				
授業内容・計画等	<p>〔目 標〕 この講義は、より広い視野の中で、自分たちの研究プロジェクトに革新と価値を生み出すプロセスへの洞察力を養うことを目標とする。</p> <p>〔内 容〕 今日研究者は重要な科学的問題を挙げる必要があるだけでなく、研究成果の利用や社会への還元について広い視野を持つ必要がある。この講義は生命科学の革新に焦点を置き、アイデア創成や、カリフォルニアのスタンフォード研究所で発展した、アイデアの発展・評価・表現のモデルであるNABC概念のようなテーマに触れる。また、特許や特許データベースの検索、自分や自分の研究アイデアの売り込み方なども含まれる。スウェーデン国家、EU、民間資本などを通じた商業ベースのプロジェクトの資金調達法や基準についても取り扱う。言うなれば、この講義は学術や産業において成功するための心構えである。</p> <p>〔計 画〕 3/9,10,17,25,26 起業家を含む様々な分野の専門家からの講義、グループ課題と2つの個人プロジェクト。</p> <p>〔教材など〕 適宜指示する。</p> <p>〔学習上の留意点〕 積極的に主体的な参加を期待する。</p>				
成績評価の基準等	すべての講義に出席し、課題をすべて提出すること。個人の記述課題。				

授業科目の授業内容（シラバス）

科目区分	講義科目				
科目名（フリガナ） 英文科目名	特別講義（論文作成と批評における方法論） （トクベツコウギ（ロンブンサクセイトヒヒョウニオケルホウホウロン）） One elective course (Writing and reviewing a draft research paper)				
対象学生	名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻（医学博士課程）				
必修／選択・単位数	選択必修	授業形態	講義	開講時期	1～3年次前期
担当教員名	Jan Lexell, Christina Brogårdh				
授業内容・計画等	<p>〔目 標〕</p> <p>この講義は、論文発表のプロセスや論文作成、論文原稿の批評について、知識や技術を高めることを目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々なタイプの研究論文を説明し、議論できる。 ・研究成果の発表の形式や内容について詳細に説明し議論できる。 ・科学的な構成で研究結果を編集し、関連する対象グループに応用できる。 ・他者の研究論文について、批評・評価し、建設的なフィードバックを与えることができる。 ・共著、改ざんまたは省略、匿名、守秘義務などといった、異なる公表形式のプロセスについて評価し、議論することができる。 <p>〔内 容〕</p> <p>この講義は主に相互セッションに基づいて行われる。講義や研究論文の批評、グループワーク、ディスカッション、応用演習、個人学習などが含まれる。5日間のうち、3日間は講義、1日が個人学習、最終日が講義である。</p> <p>〔計 画〕</p> <p>5/26～28、6/9 9:00～16:00</p> <p>〔教材など〕</p> <p>Day, R. & Gastel, B. (2012) How to Write and Publish a Scientific Paper. Cambridge University Press. 7th ed.</p> <p>〔学習上の留意点〕</p>				
成績評価の基準等	すべての講義に出席し、課題をすべて提出すること。個人の記述課題。				

授業科目の授業内容（シラバス）

科目区分	講義科目				
科目名（フリガナ） 英文科目名	特別講義（研究者のための動物科学研究） （トクベツコウギ（ケンキュウシャノタメノドウブツカガクケンキュウ）） One elective course(Laboratory animal science for researchers)				
対象学生	動物実験に関わる予定の学生				
必修／選択・単位数	選択必修・ 1単位	授業形態	講義	開講時期	1～3年次通年
担当教員名	Lena Uller				
授業内容・計画等	<p>〔目 標〕</p> <p>ヒトの健康を扱う医学・薬学・生物学等において動物から情報を集める手続きである実験動物学について基礎知識、役割、実験手法、倫理、関連法規を理解する。</p> <p>〔内 容〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 倫理と動物の使用 2. スウェーデンの法律 3. 動物記録 4. 識別法 5. 人道的な終了点 <p>自己評価（2～5）</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. 生物学 7. 倫理学 8. 家畜学 9. 動物の世話、管理 <p>自己評価（8～9）</p> <ol style="list-style-type: none"> 10. 麻酔、無痛覚、安楽死 11. 実験動物の病気 12. 動物実験方法論 13. 遺伝子組換え生物 14. 代替法 15. 生物医学施設での安全 <p>〔計 画〕</p> <p>この講義は、サーバーPing Pong を用いたオンライン形式の講義である。学生が決めた時間に自分のパソコンを使用して受講する。</p> <p>〔教材など〕 適宜指示する。</p>				

	<p>〔学習上の留意点〕 修了に約 40 時間。</p>
成績評価の基準等	<p>理論パートが修了すると、学生の将来の実際の活動に合わせて、実用パートに入る。これによって動物実験の資格証を与えられる。</p>